お客さま本位の業務運営に関する取組方針

当組合は、「組合員をはじめとする地域住民の皆さまの生活・福祉の向上に貢献する」ことを経営理念として掲げ、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さま一人ひとりの資産・負債状況や、金融商品の取引経験、商品知識や取引目的、ニーズ等を把握のうえ安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

1. お客さまへの最適な商品提供

- (1) お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることはありません。お客さまのニーズと選びやすさを考慮して一定の商品数に絞った「JAバンク セレクトファンド」をご用意しております。商品選定にあたっては外部有識者の知見も踏まえ検討しており、定期的な各商品のモニタリングも行っております。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則 2 本文および(注)、原則 3 (注)、原則 6 本文および(注 2、3)】
- (※)原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021年1月改訂)と対応しています。

2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせるために、スタイル診断シートやセレクトファンドマップなどを活用して、お客様にふさわしい商品をご提案いたします。 【原則 2 本文および(注)、原則 5 本文および(注 $1\sim5$)、原則 6 本文および(注 1、2、4、5)】
- (2) 商品の提案にあたっては重要な情報について、簡単な用語や表現を用い I Tツールを活用して、投資経験の少ないお客さまにも分かりやすくご説 明し、納得していただけるようにしてまいります。【原則 4、原則 5 本文お よび (注 $1\sim5$)、原則 6 本文および (注 1、2、4、5)】

- (3) お客さまの投資判断に資するように、各種手数料に関する情報提供については目論見書や契約締結前交付書面の説明などを通じて透明性を向上させてまいります。【原則 4、原則 5 本文および(注 $1\sim5$)、原則 6 本文および(注 1、2、4、5)】
- (4) 70 歳以上のお客さまには、原則として家族等の同席を求め、事前に管理者による商品の理解度を確認しながら説明します。

【原則 4、原則 5 本文および (注 $1\sim5$)、原則 6 本文および (注 1、2、4、5)】

3. 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。【原則3本文および(注)】
- (2) 担当者が手数料の高い商品を販売しても、人事評価に影響は与えません。よって、自らの評価のために手数料の高い商品をお客さまのご意向に反して提案することはありません。

4. 人材の育成と態勢の構築

- (1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】
- (2) お客さま本位の姿勢を徹底するとともに、専門知識の水準を向上させ、幅広い提案のできる人材を育成するための研修体制を充実させてまいります。【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

5. お客さまの利便性の向上

(1) 電話や訪問等により商品・サービスの説明をさせて頂く時間帯・場所等 については、お客さまのご希望に沿うように努めます。【原則2本文および(注)】

<u>お客さま本位の業務運営に関する取組状況および</u> K P I 実績値の公表について

J A グループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」(「比較可能な共通 K P I 」)も同時に公表いたします。

陶都信用農業協同組合



1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの 多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- 当組合では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2022年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外	
債券型	1 (前年度末:1)	8 (前年度末:8)	
株式型	6 (前年度末:6)	7 (前年度末:5)	
REIT型	2 (前年度末: 2)	3 (前年度末:3)	
バランス型	1 1 (前年度末:1 1)		

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。



(件)

- 2 お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
 - お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されたお客様はございませんでした。

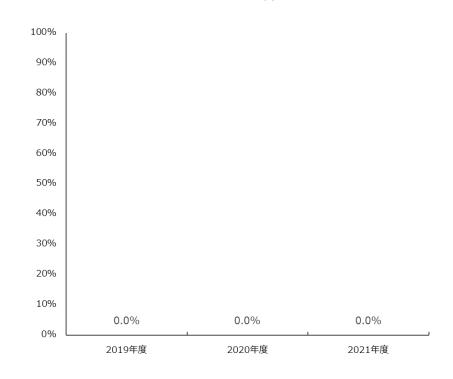
<投信つみたて契約件数の推移>

0

2020年度

2021年度

<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>





0

2019年度

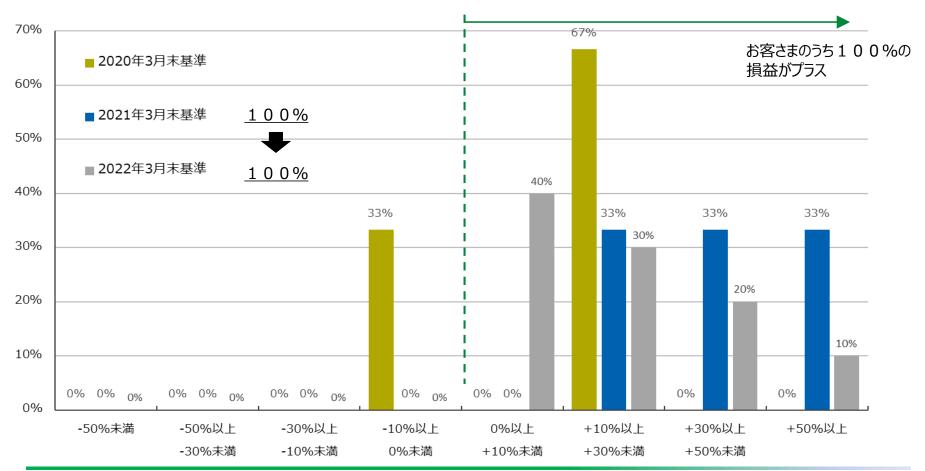
- 2 お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
 - お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
 - なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

- 3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】
 - 当組合では、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

- 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および (注)、原則6 (注5)】
 - 当組合では、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。

1 運用損益別顧客比率

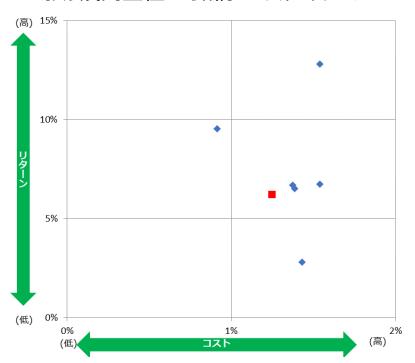
• 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2022年3月末時点では全体の100%のお客さまの損益がプラスとなりました。



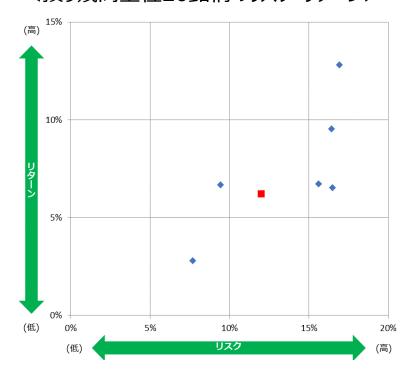
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3) (2022年3月末)

- 当組合では、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用 実績が優良なファンドを選定しております。
- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.25%、平均リスク12.00%に対して、平均リターンは6.22%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3) (2021年3月末)
 - 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1. 10%、平均リスク14. 00% に対して、平均リターンは9. 77%となりました。

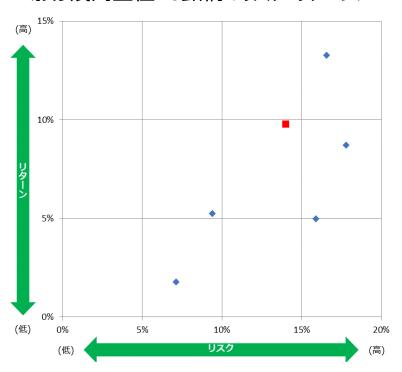
<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

(高) 15% 10% 5% (低) 0% (低) 0% (1% 2% (高) 2%

※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※赤い点は平均値を示しています。

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(3/3) (2020年3月末)
 - 2020年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1. 13%、平均リスク13. 91% に対して、平均リターンは-0. 26%でした。

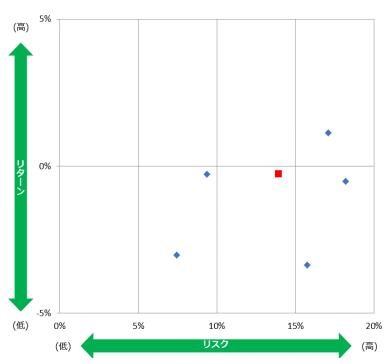
<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

(低) -5% (低) 1% 2% (高)

※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※赤い点は平均値を示しています。

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



Ⅱ.比較可能な共通 Κ Р Ⅰ

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3)(2022年3月末)

	ファンド名 運用会社	リターン	リスク	コスト	
	ファンド ロ	连用云仁	(年率)	(年率)	全体
1	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	2.80%	7.69%	1.43%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
3	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
4	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne (株)	6.73%	15.61%	1.54%
5	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.52%	16.48%	1.39%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.22%	12.00%	1.25%



^{※ 2022}年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は6本となります。

[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 Κ Р Ⅰ

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3) (2021年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン	リスク	コスト
	ファンド ロ		(年率)	(年率)	全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.27%	16.56%	0.91%
2	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	1.76%	7.14%	1.43%
3	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.24%	9.39%	1.38%
4	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	8.71%	17.80%	1.39%
5	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne (株)	4.97%	15.90%	1.54%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.77%	14.00%	1.10%



^{※ 2021}年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は5本となります。

[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 Κ Р Ⅰ

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(3/3) (2020年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン	リスク	コスト
	ラアンド ロ		(年率)	(年率)	全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	1.14%	17.09%	0.91%
2	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	-3.03%	7.44%	1.43%
3	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	-0.28%	9.36%	1.38%
4	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne (株)	-3.37%	15.76%	1.54%
5	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.52%	18.21%	1.39%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		-0.26%	13.91%	1.13%



^{※ 2020}年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は5本となります。

[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。